

平成25年度 学校自己評価システムシート(山口学院 埼玉平成高等学校)

目指す学校像(ミッション)	一人ひとりの生徒の学力向上をはかり、進学力の高い学校を目指す
---------------	--------------------------------

本年度の重点目標	1 言葉に強い生徒の育成に努める 2 授業の工夫と改善に努め、生徒が意欲的に学習に取り組めるように心掛ける 3 生活指導を徹底し、挨拶や礼儀をはじめとする基本的な生活習慣の育成に努める 4 生徒の学力と人格の育成に努め、希望の進路実現を図る 5 グラウンドの改修と再配置を行い、より快適な環境づくりに努める 6 本校の特色をアピールし、積極的に広報活動を行う 7 学校運営の改善・向上に努める
----------	--

評価	達成度
A	ほぼ達成(8割以上)
B	概ね達成(6割以上)
C	改善の兆し(4割以上)
D	不十分(4割未満)

学 校 自 己 評 価					学 校 関 係 者 評 価			
年 度 目 標					年 度 評 価 (3 月 3 1 日 現 在)			
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	評価指標	経過・達成状況	達成度	次年度の課題と改善策	実施日:平成26年2月22日
1	全生徒の学力を向上させるためにあらゆる学問の基礎である 言語能力を高める ことを全校をあげて取り組む	言葉に強い生徒の育成	<ul style="list-style-type: none"> 検定対策講義を「言葉の時間」として週1時間、国語(1年生は2時間)・英語の授業へそれぞれ組み込み実施 日本語検定、英語検定を全員受検 検定は一級ずつ着実に取得させ、3年間で目標の級に到達するように指導を徹底する 入学前より新入生に日本語・英語の各入門テキストを課題として行わせる 毎週漢字・英語単語テストを実施 外部講師を招き、言葉を学ぶ意欲を喚起する講演会を実施 	<ul style="list-style-type: none"> 検定合格者数 学ぶ意欲を喚起する講演会が実施出来たか 	<ul style="list-style-type: none"> 日本語検定は2級に3名、準2級に7名、3級に82名合格 4級合格者の中で全国上位5位以内に入り、読売新聞社賞 優秀賞を受賞した 英語検定は2級に23名、準2級に44名、3級に109名合格 言葉を学ぶ大切さについて日本語検定協会より、元NHKエグゼクティブアナウンサー梅津正樹氏をお招きして講演会を実施し、生徒の意欲喚起に努めた 毎週漢字テストと英単語テストを実施し、検定合格に向けて対策授業を実施した 	A	<ul style="list-style-type: none"> 検定は一級ずつ着実に取得し、3年間で目標の級に到達するように指導を徹底する 検定対策の「言葉の時間」を一層充実させる 検定の分析結果から各教科の協力体制を整える 今後も意欲喚起に繋がる講演会を企画する 	<ul style="list-style-type: none"> 検定の結果が順調であり、実績も確実に上がっている。来年度もよろしくお願いたい 言葉の教育において国語科や英語科の負担が大きくなるように各教科の応援体制が不可欠だと思う 言葉に対する意識向上に講演会が役立っている。より良い講演会を企画して欲しい
2	特別選抜コース 特別進学コースⅠ 特別進学コースⅡ 進学コース それぞれの コースに適した授業法を開発 して授業力を向上させる	授業法の改善	<ul style="list-style-type: none"> 入学前後の学習指導の充実 習熟度確認テストの実施(3月) 確認テストの事後指導を3日間実施(3月) 総復習用のテキストを課題として配布 課題の確認テストを実施(4月) 自学の習慣を身に付けさせる指導(1日3時間を目標とする) 対話型授業の導入 朝食を摂らせる指導 教員自己評価の実施 生徒からの授業評価の実施 全教科研究授業の実施 教員研修会の実施 	<ul style="list-style-type: none"> 意欲が向上し、家庭学習が定着したか 教員が授業力向上に努めているかアンケートを実施 生徒が授業に満足しているかアンケートを実施 コース毎のデータを基に伸長を確認 	<ul style="list-style-type: none"> 3月16日新入生に学力テストを実施し、入学試験の結果と合わせてクラス編成を行った 3月25～27日学力テストを基にトータルビュー(総復習)を実施し、入学までの学習方法を指導した 授業公開や研究授業をはじめ、教員自己評価や生徒からの授業評価から授業力向上のための教科会や研究会が活発化した コースの特性を活かした指導法の研究に努めた 対話型授業の導入で生徒の積極的な授業参加を促した 文部科学省発刊の言語活動の充実に関する指導事例集を基に教科で研究を行った 県教育委員会主催の協調学習の報告会に各教科代表が参加し、教科で研究を行った 教員研修会でデジタル教材の現状を研修した 	B	<ul style="list-style-type: none"> 新入生の初期指導に重点を置き、学習態度の指導も徹底する 授業力向上に向けて教科研究会を継続して行う 対話型授業、自学修得の研究を継続して行う 	<ul style="list-style-type: none"> 入学前後の学習会は本校の特長であり、継続して指導を行って欲しい デジタル教材を利用する教員の研修が大変だと思うが、より良い授業の開発に努めて欲しい 現在の食育から将来は健康教育全般指導に発展させて欲しい 生徒が授業に意欲的に参加しており、先生方の研究会の成果が表れていると思う

3	校訓の「創造」・「自律」・「親切」をより具現化するため、目指すべき生徒像を ・「熱き心」を持ち ・「品位とけじめ」のある ・「あいさつ」のできる 生徒と設定し、指導を徹底する	生活指導の充実	・ 人権教育を継続して指導 ・ 道徳教育を継続して指導 ・ 挨拶の指導を徹底 ・ 登下校時のマナー指導の徹底 ・ 家庭と連携を図り、生徒指導を徹底	・ 生徒および保護者が生活習慣の向上を実感しているか ・ 教師と生徒と保護者の信頼関係が築けているか ・ 学校に寄せられる苦情の件数が減っているか	・ ホームルームや学年集会を通して基本的生活習慣や人権についての指導を徹底した ・ 校訓や目指す生徒像の標語をもとに元気な挨拶の出来る生徒が増えた ・ 家庭との連携を心掛け、生徒の育成に努めた	B	・ 人権教育を一過性にせず継続的に指導を行う ・ 挨拶は教員自らが積極的に行い、お手本となる	・ 道徳、人権教育を変わず行って欲しい ・ 耐える心の養成をお願いしたい
4	生徒個々の進路目標を実現するため、補講・補習を一層充実し、より 学力の高い学校を目標 とするよう指導する	進路指導の充実	・ 日本教育工学研究所との連携を強化音羽塾の毎週土曜日開塾 自学用補助教材の開発 ・ 模擬試験を各コースの特性に合わせてきめ細かな事後指導を徹底 ・ 二者面談によるモチベーションの維持 ・ 通年補講、補習の拡充 ・ 夏期休業中サマーセミナー(1・2年)、センター合宿(3年)の充実 ・ 各ガイダンスを通して具体的な進路指導の実施 ・ 進路指導室からの情報発信の拡充	・ 希望進路が実現できた生徒が100%に近づいたか ・ 補講や補習が充実していたか ・ 昨年度の進学実績を上回ることができたか	・ 「平成流学びの構築」を日本教育工学研究所と連携し、指導法や教材開発を進めた ・ 模擬テストの結果を基に、きめ細かな指導に役立てた ・ 通年補講や補習の拡充を図ることができた ・ サマーセミナーやセンター合宿の内容を再検討し、より効果の高い手法を模索した ・ 各ガイダンスを通して進路目標を設定する機会を充実させた	B	・ 模擬テストはコースの特性に合わせたものを実施し、事後指導を行う ・ サマーセミナーやセンター合宿での成果を検証し、より効果の高い手法を確立する	・ 進路指導部からの情報発信やガイダンスの見直しから生徒の意識が変わったように思う。継続した指導をお願いしたい ・ サマーセミナーやセンター合宿の充実に期待したい
5	学習環境の改善に取り組み、 情操教育を充実 させ、校内の環境づくりに努める	更なる環境づくり	・ 図書室の利用頻度を上げる ・ 3学年全員に茶道教室、歌舞伎教室の実施 ・ 情操教育としてヒロ・ヤマガタの版画を校内に展示 ・ 情操教育として日本文学者24人の色紙を校内に展示 ・ 玄関前の庭木を剪定し、美化に努める ・ 第一グラウンドにサッカー場を再配置し、テニスコートと合わせて全面人工芝に改修 ・ 第三グラウンドに陸上トラックを再配置し、改修	・ 生徒および保護者が校内環境に満足しているか ・ 本校の教育環境に対して来校者の評価	・ 情操教育の一環として行った版画や色紙の掲示が好評である ・ 第一グラウンドの全面人工芝が完成し、サッカー部以外に体育の授業や昼休みに生徒が利用している ・ 第三グラウンドの陸上トラックが3月末に完成予定 ・ 合宿所の建設が4月より着工予定	A	・ 図書室の利用頻度を上げるために椅子やPCを設置し、授業でも利用できるように整備する	・ 『図書だより』に加えて生徒玄関の掲示板を利用して推薦図書の周知をお願いしたい ・ 人工芝化は生徒の愛校心を育てていると思う ・ ボランティア活動への積極的な参加を指導して欲しい
6	生徒募集活動を活発に展開し、 質の高い生徒の入学 を目指す	意欲のある生徒を募集	・ 全教員で塾、中学校訪問を実施 ・ 募集用のポスターを工夫し、電車や駅構内での広告活動を積極的に展開 ・ 説明会や相談会を増やし、広報活動に力を注ぐ ・ 中学校講演会への講師派遣 ・ 全教員の名刺作成	・ 受験者数の拡大と入学者数の確保 ・ コース毎に過去年度の学習到達度テストで比較	・ 全教員で塾や中学校を訪問し、本校の教育活動を広めることが出来た ・ 広報活動を積極的に展開して本校の知名度を上げることが出来た ・ 中学校からの講演依頼(8校)を受け、本校の周知に努めた	A	・ 厳しい経済状況下での募集に対し、継続して本校をPRして行く	・ 全員での募集活動は大きな力になっていると思う
7	教員一人ひとりの適性を活かした組織づくりを行い、 明るい職場環境 を目指す	組織の円滑な運営	・ 入試選抜委員の学校運営委員会からの独立 ・ 新人を採用し、職場の雰囲気改善 ・ 二人担任制の導入 ・ 職員室を整理整頓し、明るく会話のし易い環境をつくる ・ 土曜授業に伴う教員の休日設定	・ バランスは良いか ・ 機能しているか	・ 職員室の備品の改修により明るく見通しの良い職場環境を実現した ・ 教員研修を外部講師を招いて「カウンセリング」にテーマを絞り2回実施し、資質向上に努めた ・ 校長より教職員へ「体罰防止」と「言葉の暴力」に注意するよう訓辞がなされた ・ 二人担任制の導入によりきめ細かな指導が可能になった	A	・ 教員個々が更なる資質向上に努める	・ 防災教育の徹底をお願いしたい